

# ゆうらくせん 遊楽船12月号



施設長 福永政和

師走の慌ただしい時期ですが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナの感染が少々落ち着きをみせたかと思っておりましたが、再び拡大と不安な毎日です。感染の状況を見ながらではありましたが、利用者の皆さんに少しでも楽しんでいただきたいと思い、今年の後半は、外出や旅行、クリスマス会などが実施できました。慌ただしくもありましたが、利用者の皆さんと食事やイベントなど一緒に過ごしながら、たくさんの笑顔を見ることができました。少しでも楽しい時間を過ごせて、つくづく実施してよかったですと思います。コロナ禍での変化した生活へも慣れてきたような感じもあります。昔のような本当のつかわきの日常へ戻ることは難しいことかも知れませんが、様々な制限の中ではありませんでしたが、利用者の皆さんの笑顔のために、少しずつではありますが前に進めたのではないかと考えています。新しい年も利用者の皆さん全員が、幸せで元気であることをひたすら願うばかりです。

ご家族の皆様、この一年、大変お世話になりました。また、かねてからのお心遣いに感謝申し上げます。新しい年を迎えますが、皆様にとって多くの幸せが訪れる年となりますようお祈りいたします。どうぞ、よいお年をお迎えください。



## 愛情こめた支援

静岡県の保育園での虐待事件、保育士3名が逮捕というショックな事件が大きく取り上げられました。また、北海道の知的障害者施設での事案など多くの虐待に関するニュースに怒りを覚え、残念でなりません。この事件前、本施設では虐待防止をテーマに職員研修を行ったばかりでした。「しつけのつもりで」、「コロナ禍で業務が忙しく」…などとの供述もあるようですが、報道にある言動は子どもや利用者の人権を考えると言い訳にもなりません。虐待には身体的虐待や心理的虐待と併せて、経済的虐待や無視、放置といった行為も含まれます。福祉や教育の現場だからこそ起こりうるという難しさや可能性も秘めています。

弱い立場にある子どもや利用者さんの命や健康を守り、成長や穏やかな人生を送るために支援することが私たちの職務であり生きがいでもあります。人それぞれの力量や解釈は違います。だからこそ学び合いや教え合うといった職員間の良きコミュニケーションが重要と考えます。利用者の皆さんの幸せのためにも、こうした研修を重ねながら、自己を振り返り、より一層愛情のこもった支援に心がけてまいります。

## クリスマス会を開催

12月21日(水)、毎年恒例のクリスマス会を垂水市のリブマックスリゾートホテルで開催しました。美味しい料理を腹一杯食べてもらいたいと今年は昼に開催、ランチバイキングをいただきました。楽しみのプレゼント交換では、さっそく手にとって喜んでおられる様子、また、今年は“ボニート クレイズ”をゲストとしてお招きしました。クリスマスの定番「ゴスペル」演奏で幅広く活躍されているグループです。力強いサウンドやリズム感あふれるクリスマスソングに手拍子や体を動かして楽しみました。



## HAPPY BIRTHDAY

11日(日)、12月生まれの利用者の誕生日を皆さんでお祝いしました。今月は稲森昭人さん、横手洋さん、宮武勝行さんの3名です。それぞれリクエストに応えたプレゼントを嬉しそうに受け取って喜ばれていました。益々お元気で過ごしてほしいと思います。

## 自治会主催 11月の誕生会

